

渡辺学園の求める人材像

本学園は、明治14年（1881年）創立以来、校祖渡邊辰五郎の「女性の自主自律」を建学の精神とし、太平洋戦争後の学長青木誠四郎の「愛情、勤勉、聡明」を生活信条として、138年の伝統を継承し、今日に至っている。

国内外の多岐にわたる諸課題を解決するため、本学における教育・研究を基盤とした人材を育成することで、社会に貢献することを、東京家政大学の人材育成の目的としている。

東京家政大学の教育理念

1. 建学の精神である「自主自律」の道を歩むことのできる人材を育成する
2. 生活信条としての「愛情・勤勉・聡明」を実践できる人材を育成する

渡辺学園の求める人材像

東京家政大学の教育理念を理解し、自らもその模範として相応しい職員となることができる。

また、その教育理念に沿った学生指導を心がけて実践することと、学校関連業務を遂行することができる。

1. 教育・研究の発展に対する熱意がある人
2. 視野を広く持ち、新たな価値を創造できる人
3. 業務課題の現状とその改善に対して問題意識を持ち、創造性を持ちながら客観的見方を忘れず、主体的な行動力と誠実な実行力を併せ持つ人
4. 明るく、元気で、心身ともに健全で常識に沿って判断できる人
5. 大学の社会的使命と社会貢献に取り組む意欲のある人

総務部長から

渡辺学園、東京家政大学に、就職先として興味をもっていただきありがとうございます。東京家政大学は、上記教育理念のもと教育・研究の発展及び社会貢献に取り組んでいます。また、短期大学部・附属高等学校・中学校・幼稚園・保育施設等の運営と共に、社会に有意な人材の養成に努めています。

渡辺学園、東京家政大学がさらに成長・発展していくため、学校法人の公的性格を理解し、求める人材像の一翼を担える職員を必要としています。

仕事と生活の調和、とくに女性が仕事をしながら結婚・出産・育児ができることをめざした職場づくりに共感でき、意欲を持って学園運営に参画したいと希望する多くの方々の応募を期待しています。